

緑 GO GREEN でいこう

地球ひとつで生きる

2/8・9 第14回緑の党定期総会を開催



3/15 民主主義ユースフェスティバルに出展



3/23 静岡県静岡市議選で公認のまつや清さんが当選。多くのボランティアに支えられた



Interview

一般社団法人 反貧困ネットワーク
専務理事・事務局長

瀬戸 大作さん

1962年神奈川県生まれ。パルシステム生活協同組合連合会職員として、神奈川県ゆめコープ事業本部長、連合会事業部長などを歴任。この間、福島原発被害者の救済を求める全国運動「避難の協同センター」[希望連帯]などの事務局を担う。2020年には「反貧困ネットワーク」の事務局長として、「新型コロナ災害緊急アクション」を呼びかけ、雇止めなどにより困窮する人々を支援。現在も、日本社会における貧困問題の解決をめざして精力的な活動を展開している。

「反貧困」は多様な社会運動との連携をめざす

反貧困ネットワークは、日本社会において拡大する貧困問題を解決するために活動する団体や個人を結び付ける社会的ネットワーク団体。2007年10月に任意団体として活動を開始以来、常に生活困窮者に寄り添う活動を展開してきました。しかし、「直面する問題と向き合うだけでは貧困は解決しない」との意を強くした事務局長の瀬戸大作さんは、多様な社会運動との連携を踏まえて構造的に捉えていくことの重要性を指摘します。貧困問題を通じて瀬戸さんが感じてきた「社会の構造的矛盾」を探ります。

もっと詳しいロングインタビュー記事はこちらから



「コロナ禍後に顕在化してきた貧困第3波」「貧困」と「食」との密な関係を問う

まずは第3波といわれる「貧困の現在地」について教えてください。

瀬戸 米の価格高騰が社会問題化する中で先日、「令和の百姓一揆」と銘打ったデモ・集会がありました。ここには農家だけではなく、米の高騰に不安を持つ若者や家族連れなど、消費者も多数参加していて、改めて「貧困」は「食」の問題と密接な関係にあるという認識を深めているところです。また、総数だけではなく「貧困の質」も変わってきていて、鬱（うつ）病や統合失調症などの精神疾患を抱えている人の比率が高くなっていることを、深刻に受け止めています。

貧困は単に経済的なことだけではないということですね。

瀬戸 難民、正確にいうと健康上・人道上の理由から収容を解かれていく「仮放免」の人たちが何を食べているかというと、スナック菓子などに依存してしまっています。キャンプをしながら食事を楽しもうとしても、スナック菓子が習慣化してしまっただけで、口にするのができません。同じような状況が、日本人として暮らしてきた人たちの貧困においても顕在化してきていることに、大きな危惧を抱いています。

「女性支援新法」が果たすべき役割とは? 「共助」から「公助」へ向けての障壁

2024年4月に「女性支援新法（困難な問題を抱える女性への支援に関する法律）」が施行されましたが、十分に機能しているのでしょうか?

瀬戸 新法に基づき、多くの市区町村に相談窓口が設置されるようになってきました。しかし、現状では地域によってかなりの差が生じてしまっていることも事実。本来ならば、生活に困窮している女性が地域コミュニティの中で生きていける環境を築いていくためには、自立に向けてトータルな支援が必要なのですが、実際にはアパート（住居）の確保、就労、生活保護などのセーフティネットなど、縦割り対応となっています。特に女性の場合は1人暮らしの経験がない人が多いこともあって、我々の活動でもよりきめ細かな伴走型へのレベルアップが求められています。

行政の対応のどこに問題があるのでしょうか?

瀬戸 生活保護を受けさせないために、申請を「予約待ち」としている行政もあります。就労支援担当が同席して、生活保護を受けさせずに就労に導こうとするケースも少なくありません。しかも、「寮付き派遣」でやっていけないようになったから相談に来ているのに、再び繰り返すとして拒否するのです。まさに本末転倒と言わざるを得ません。また、社会福祉法に基づく「無料低額宿泊所」への入居を迫り、それが嫌なら追い返すといった厳しい対



応が頻繁に行われています。そのため、生活困窮者は「福祉は冷たい」と感じて、我々に救いを求めてくるのですが、その際には所持金が硬貨だけというケースが稀ではありません。それでも行政が動かないのは、要は現場を把握できていないからです。新法ができて、認識が旧態依然としていないというのが実情です。

生きるか死ぬかが「都会の貧困」「一方で学ぶべきは「ムラの貧困」

貧困は都市の問題として捉えられがちですが、一方で農村から声があがったことについてどう捉えていますか?

瀬戸 農家が抱える根本的な問題については、これまで議論がなされてきませんでした。そこに風穴を開けようとしたのが、「令和の百姓一揆」です。都会に暮らす消費者を含めて「農村で何が起きているか」を、一気に可視化されるチャンスだと捉えています。確かに「都市の貧困」と「ムラの貧困」は質が違いますが、実は表裏一体であるからです。

若い世代や他の社会運動との連携を軸に、「絶望」から「希望」への転換を模索

今後、どのような活動を展開しようとお考えですか?

瀬戸 現状では支援する側と支援される側の関係が固定化してしまっていて、困窮者たちが依存型となり、自己肯定感が欠如していくことを危惧しています。そこで、こういった関係をリフレッシュしたいと考えていたところ、難民問題に取り組んでいる学生職員から思わぬヒントを得ました。農村で「一緒に住める場所を作れないか?」というわけです。このことを成田空港の建設を巡って土地の闘いがあつた三里塚で農業を受け継ぐいまの世代の人たちに話したところ、心を動かしてくれ、生産農場のようなものを作る話し合いを進めています。とはいえ、さまざまな難局が待ち構えていることは間違いありません。それだけに実現に向けては、若い世代はもとより、他のさまざまな問題と向き合っている人々との連携を深め、互いに知恵を絞り出していきたいと切に願っています。



東京都議会議員
緑の党グリーンズジャパン共同代表
1960年静岡県生まれ。1983年より小金井市内で保育者として働く中で、1986年のチェルノブイリ原子力発電所事故に衝撃を受け、市に食品の放射能測定室の設置を求める運動に参加。1997年に小金井市議会議員選挙に当選して4期16年務める。緑の党グリーンズジャパンには設立から携わり、2022年4月より共同代表。2021年7月の第21回東京都議会議員選挙に無所属で立候補して当選。



立川市で NPO 法人さんきゅうハウスを運営して 12 年目の昨年 10 月、私たちは借りていた 3 階建の一軒家を明け渡しました。理由はスタッフの高齢化、カンパ収入による維持がこの先見通せないことなどでした。

生活保護費や年金で入居していた 6 人の利用者、スタッフらには近隣のアパートで一人暮らしを始めてもらいました。意外だったのは、さんきゅうハウス入居時に一番手を焼いた人が 1 人暮らしを始めると、ヘルパー訪問や訪問介護などの医療・福祉制度を利用しながら比較的すんなり落ち着いた生活ができていて、なんとかなるだろうと思った人が年金生活で金銭管理ができなかったり、見守りが必要だったりします。



1 人暮らしの高齢者や心身の病気や課

題を抱えた人たちが孤立せず、家賃を払い電気とガスが使える普通の暮らしができるよう、見守りをする人とヒマな時間の居場所をどう確保していくのかは大きな課題です。

現在行っている主な活動は、立川市内の事務所（山本ようすけ事務所との兼用で毎週実施）と公園（隔週実施）での食料配布と相談活動です。

物価高の影響もあり 2 カ所で 60 ～ 80 人ほどが利用されていますが、口コミなどでじわじわと増えています。自治体や社会福祉協議会などが実施しているフードバンク事業には生活保護利用者はお断りとか何回までとか利用制限のあるところもあるのですが、私たちは生活保護利用者、年金暮らし、ひとり親家庭などだれでも配布しています。

課題は提供する食料の確保です。食料の確保、受け取り、保管庫、配布活動それぞれの段階でボランティアスタッフが複数いないと活動が続けられません。

「賞味期限切れ」を含む非常食類を大量に配達してもよい（農水省は許可）という人がいるのですが、ある自治体は不承認、当法人では合意にいたりません。

私は食品ロス問題を考える上でも配ることはやってもいいと思いますが、みなさんはどう思われますか。

相談の大半は、結果としてホームレス状態で住まいを失った人からのものです。「住まいは人権」という重みと大切さを日々実感しています。

吉田和雄(特定非営利活動法人さんきゅうハウス副理事長)



GREENS JAPAN ACTION

2025年2月から5月の活動報告です。

2/8・9 第14回緑の党定期総会

今年は多数の党所属議員が改選をむかえ、また7月に参議院選挙が予定されている大切な年です。運営委員会提出の議案は、ご意見をうけて一部原案修正などを行い、1つ除いて可決しました。

会場には、岸本聡子杉並区長やサポーターである石川大我参議院議員が駆けつけご挨拶をいただきました。

新しい中長期計画も承認されました。次の10年に向けて飛躍しましょう！



総会特別講演 伏屋弓子さん「放射能汚染土再利用が意味するもの」

環境省は2022年、福島県の中間貯蔵施設で保管してきた除染土壌のうち、容量を減らす目的から、8000ベクレル以下のものは全国の公共事業等で再利用する方向を示しました。埼玉県所沢市に続き、東京都新宿御苑内の環境省施設でも実証実験を行なうとの発表を受けて、伏屋さんは「放射能拡散に反対する会」に参加、新宿区民として実験をストップさせてきました。その最前線からの、想いのこもったお話を伺いました。

チェルノブイリ、福島、二つの原発事故由来の放射能影響を、NPO新宿代々木市民測定所で測定を続けている伏屋さんは、GJサポーターでもあります。その長年の経験と知見に基づいた発表は、とてもわかりやすく好評でした。



伏屋弓子さん

QRコードから動画をご覧ください。▶



3/15・16

「民主主義ユースフェスティバル 2025」に出展

このイベントは、政党や政治に関する団体などが多数ブースを出展し、特に若い世代が政治に関心を持ち、自由に意見交換できる場となっています。ブースには「緑の党って何？」と興味を持ってくれた方や、他の政党を応援している方など、さまざまな人が話をしに来てくれました。

多くの方と意見を交わし、大変有意義で楽しい時間を過ごすことができました！特に嬉しかったのは、政治や社会のことを真剣に考えている若者が少なくないと実感できたことです。選挙や政治がもっと身近でカジュアルに語れるようにしていきたいです！

山本ようすけ(運営委員 / 東京都立川市議)



4/19 緑デー「軍隊を持たない国コスタリカ訪問記」

コスタリカは自然に恵まれた環境大国で、再エネ100%達成、男女同数・交互制名簿の開かれた議会など、GJがめざす社会の在り方をすでに実現しています。コスタリカ研究者として第一人者の足立力也さん(会員)は、毎年コスタリカツアーを実施しています。今回の緑デーは、昨年の参加者、伊形順子さんの報告会でした。

国民全体に民主主義が行き渡っている様子を「この国の子どもたちは、お祭りとしての選挙という国民的幸福を味わいます」という元大統領の言葉や、たくさんの写真で市議会傍聴、国立こども病院、選挙最高裁判所など紹介。

ちょうど2日後に国会で「国際委員会として「ウクライナ・ロシア紛争の解決と和解」平和文化教育で元気に育つ小学生たちを提案するホセ・ロベルト・ロドリゲスさん」のご自宅を訪問。混乱の国際情勢を相互理解と対話へ導く希望を感じました。

後半は足立さんが現在コスタリカの農園で3年目を迎えている「生物回廊」について報告。今年も8月にツアーが実施されます。詳細はコスタリカ社会科学研究所にお問い合わせください。



<https://www.costa-rica.jp/> ▶



主な声明・論説 2025年1月～4月

- ◆ イスラエルとハマスの恒久停戦とガザ人道支援への国際社会の取り組みを求めます (1/25)
- ◆ 国際女性デーにあたって一格差是正と社会意識の改革が急務 (3/8)
- ◆ 国会議論すらない経産省の省令で、全国の託送料金で原発事故費用を回収することに強く反対します (3/9)
- ◆ 14年目の「3.11」一進行する危機を前に、脱原発社会の転換への決意を新たにします (3/11)
- ◆ 「収入の壁」めぐる予算議論は将来不安を解消できない (4/8)
- ◆ 国内に混乱をもたらす汚染土再利用の再考を求めます (4/14)

詳しく知る▼



世界のみどり

GLOBAL GREENS



緑の党は世界100以上の国や地域で活動し、グローバル・グリーンズ(GG)というネットワークをつくっています。

2/24 ドイツ連邦選挙にて、ドイツ緑の党は得票を減らしつつも、第4党となった。コロナ禍やロシアのウクライナ侵攻によって、国民の関心は移民問題と経済政策に移り、気候・環境は3番目になったという調査がある。厳しい状況の中でも緑の党は、85議席と持ちこたえた。

4/1 モンゴルの「市民の勇気・緑の党」事務局長ムンクジャルガル氏と国際部副部長のデジドマ氏が、尾形慶子(共同代表兼国際部長)とオンラインで意見交換を行なった。モンゴルは過剰放牧による土地の劣化、水資源の不足、森林伐採などの深刻な問題に直面している。こうした経験を共有し、今後の協力の可能性について意見を交わした。



詳しく知る▼



自治体選挙

2/2	鹿児島県西之表市議選	沖吉富寛	新	会	推薦	残念
3/23	長野県飯島町議選	坂本紀子	現	会	推薦	当選
3/23	東京都小金井市議選	坂井えつ子	現	会	推薦	当選
3/23	静岡県静岡市議選	三宅りゅうじ	新	サ	推薦	残念
3/23	静岡県静岡市議選	長沼しげお	現	サ	推薦	当選
3/23	静岡県静岡市議選	まつや清	現	会	公認	当選
3/23	福岡県知事選	よしだ幸一郎	新	非	支持	残念
3/30	岡山県鏡野町議選	光吉ひとし	元	会	推薦	当選
4/13	東京都日野市長選	あるが精一	新	非	推薦	残念
4/13	広島県庄原市議選	松本みのり	現	サ	推薦	当選
4/20	静岡県伊豆の国市議選	高橋隆子	現	会	推薦	当選
4/20	大阪府能勢町議選	八木修	元	サ	推薦	当選
4/20	大阪府能勢町議選	難波希美子	現	サ	推薦	当選
6/15	兵庫県尼崎市議選	田中じゅんじ	現	サ	推薦	
6/15	兵庫県尼崎市議選	さこ田丸いち	現	サ	推薦	
6/15	兵庫県尼崎市議選	いちのせ剛	新	非	支持	
6/22	東京都議選	漢人あきこ	現	会	推薦	
6/22	東京都議選	岩永やす代	現	非	推薦	
6/22	東京都議選	高岡じゅん子	新	サ	推薦	
6/22	東京都議選	小松久子	元	サ	推薦	
6/22	東京都議選	原田あきら	現	非	推薦	
6/22	東京都議選	もり愛	現	サ	推薦	
6/22	東京都議選	原のり子	現	非	推薦	
6/22	東京都議選	関口健太郎	現	非	推薦	
6/22	東京都議選	西沢けいた	現	非	推薦	
6/22	東京都議選	愛みちこ	新	サ	推薦	
6/22	東京都議選	鈴木烈	現	非	推薦	
6/22	東京都議選	田中とも子	元	非	推薦	

新:新人 現:現職 / 会:会員 サ:サポーター 非:非会員

緑の党 <https://greens.gr.jp>
グリーンズジャパン E-Mail greens@greens.gr.jp

〒165-0026

東京都中野区新井2-7-10サンファスト301

TEL 03-5364-9010 FAX 03-3389-0636

会員・サポーター募集しています

カンパにご協力をお願いします

城南信用金庫 高円寺支店(店番号036) 普通預金
口座番号:340392 名称:緑の党グリーンズジャパン

郵便口座 ゆうちょ銀行
口座番号:00100-9-262967 名称:緑の党
他金融機関からのお振り込みの場合 当座預金
店名:〇ー九(ゼロイチキュー) 口座番号:262967